

アリスモデルによる分析

テーマ	区分
計画性がない	あなたの現状

こう思っている

計画的にものごとを進めよう
という意識が弱い。

こういう時

先がどうなっていくかあまり考えない。
計画を作らない。
先を読んであらかじめ準備することをしない。
その場その場で対応する。
自分は計画性がないと思っている。
(確認する)

こうしてる

後手を踏む。
余計な手間がかかる。
関係者に余計な負担をかけることになる。
目標が達成できない。
納期に間に合わなくなる。

なぜダメ？

計画を立てることの効用は以下のとおりです。
計画性がないとこうなりません。

- 1) 目標を達成するためになすべきことが分かる。
- 2) 必要な物ごとを事前に手配できる。
- 3) どの作業が重要かを把握してその対策を講じることができる。
- 4) 個々の作業の納期を明確化できる。
- 5) 関係者の役割分担を明確化できる。
- 6) 関係者が案件の進め方について、共通認識を持つことができる。
- 7) 大きな案件の場合は、計画に基づき進捗管理を行うことができる。
- 8) 同じく、予定どおりにいかない場合の対応策を検討できる。

アリスモデルによる分析

テーマ	区分
計画性がない	めざす目標

こう考えよう

「先のことを考える」と決める。
何ごともよい成果を上げるには
「先のことを考える」ことが大事である、
という意識を持つ。

こうやって

「今何かをしようとしているか？」
ならば、計画を作るのは「今です！！」
と考える。

こうしよう

まず計画を作る。
「何かをする」とときには必ず計画を作る。
特に、「計画性がない」と自覚していて
改善したいと思う場合は、
無理をしてでも計画を作成するようにする。

なぜならば

- 計画性とは「先のことを考えて対応する能力」のことです。
「先のことを考えて対応する能力」は分解するとこうなります。
- 1) 先のことを考えようとする。
(これが起点です)
 - 2) 目標の具体化
(先を読むことが必要。テーマ「目的思考が弱い」参照)
 - 3) そのために必要なことの棚卸しをして計画を作成
(当テーマ解説参照)
 - 4) その中で重要なものを準備
(テーマ「段取りが下手」参照)
 - 5) それに基づいて活動



【計画性とは】

当テーマでは、「計画性とは、先のことを考えて行動する能力」

と定義します。

大事なことは、「先のことを考える」ことです。

計画を作る能力のことではありません。

計画性のあるなしの差をいくつかのテーマで示します。

テーマ	計画性ありの行動 (=事前に計画と準備)	計画性なしの行動 (=出たところ勝負)
週末の行動	たまには家族でドライブする。⇒レンタカーの予約をする。	週末になって「お父さん、どこかに連れて行って」と言われてレンタカーを申し込むが満杯でダメ。
ゴールデンウィークの行動	4月初めから、そんなに混まなくて楽しめるバス旅行を探して予約する。	その時になって行くところを探し始めるが見つからず、何となくぶらぶら過ごしてしまう。
イベントの実施	開催予定日を基準にして、必要な準備を進める	今やれることをどんどん着手する。結果的に間に合わなくなる。
セカンドライフの準備	会社がおかしくなって仕事を失うことに備えて、自分が向いている資格取得の塾に通う。	リストラになって、あわてて仕事を探す、希望する給料の仕事は見つからない。

【なぜ「計画性がない」を改善する必要があるのか】

計画性がないと、上のテーマ例のように、

満足のいく結果が得られないのです。

計画性がない「行き当たりばったり」「出たところ勝負」

の連続では、いずれ人生の敗残者になってしまいます。

【計画性を分解すると】

計画性ある行動をする場合には以下の活動が必要です。

1. 「先のことを考えようとする」

計画性では、これが一番大事なことです。

これによって、2. 以下の作業が始まるのです。

先のことを考えようとしなければ、何も始まりません。

2. 目標の具体化

何をしようとするのかについて目標を具体化します。

目標はゴールです。

週末どこへ行くのか。どんなイベントをするのか、

目標が具体的でなければ、何も始まりません。

3. 計画の作成

その目標を実現するためには、何を準備しなければならないのかを棚卸し（整理）して、スケジュール化します。

4. 必要な準備

計画で挙げられた準備をします。

準備は自分でしても、人に任せてもOKです。

5. 以上に基づく実施

イベントなど目標で描いたことの実施です。

この作業は計画性自体ではありません。

【計画性の強化方法】

計画性の本質は、「先のことを考える能力」です。

これ自体を抜本的に強化することは、

経験上かなり困難だと思われます。

しかし、「先のことを考えようとする」ことが

改善の第1歩になります。

自分は計画性がない、と思う方は、

「先のことを考えよう」「先のことを考えよう」と

意識するようにしてください。

そして、計画を作ることへの能力向上は可能です。

計画を作る能力の向上は、

計画性の一部を補強することになります。

【計画の作成方法】

そこで、計画を作る能力を向上させましょう。

計画の作成方法を、運動会の実施を例に示します。

具体的な内容は、参考情報源の

「1. MIND-SA プロジェクトネットワーク手法」
を参照してください。

1. 目標の具体化

計画を作る前には、目標の具体化が必要です。

目標は、ゴール・行き先です。

行き先が決まらなければ計画の作りようがありません。

目標の具体化は、以下の2ステップに分かれます。

a. 実現すべきゴールに対する要求内容の具体化

どういう運動会をやりたいか、です。

b. 要求を受けてゴールの具体化

こういう運動会の内容になる、です。

競技種目が柱です。

に分かれます。

2. 計画の作成

それから計画作りに入ります。

a. 最終目標達成のために必要な作業の洗い出し

運動会の会場準備、用具の準備、賞品準備などです。

b. 作業の中身を分解して、その関係をネットワーク化

用具の準備だと、必要な用具の確認、調達方法の決定、
手配、——です。

に分かれます。

以上の方法について少しずつチャレンジして、
計画作成の名人になってください。

【私の行動改善目標（いつまでにこうなる）】のお勧め（例）

9月30日までに「まったく計画性がない」を卒業！

【日々の行動（こうする）】のお勧め（例）

先のことをもっと考える。

【計画性を強化するための参考情報源】

1. MIND-SA プロジェクトネットワーク手法

<http://www.newspt.co.jp/contents/manual/yes/of/2626.html>

作業名・担当・作業期間・作業間の関連を明確化できる簡易な計画手法です。
「運動会の場合」を参照してください。

2. 目標が達成できない…「計画性」が身につかない人の 5 つの原因と対処方法

<https://matome.naver.jp/odai/2140663184495664901>

テーマどおりの内容で参考になります。

3. 計画性がある人となない人の違い・計画性を鍛える方法

<https://mayonez.jp/topic/2191>

テーマについての確な解説がされています。「鍛える方法」は第3者が鍛える前提です。

4. 【計画性】を養うために僕が心がけていること

<http://www.makoto-sencho.com/entry/2016/09/08/%E3%80%90%E8%A8%88%E7%94%BB%E6%80%A7%E3%80%91%E3%82%92%E9%A4%8A%E3%81%86%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AB%E5%83%95%E3%81%8C%E5%BF%83%E3%81%8C%E3%81%91%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8>

「僕が」となっていますが、一般論として通用する内容です。

5. 先を読み行動する「計画性」

<https://flyaway-pro.jp/?p=6165>

計画性の重要な要素を解説しています。

6. 人生において何の目標も計画性もないことの危険性について「その結末」を知る僕が警告したいと思う

<https://kodokudemonmon.com/archives/35>

計画性がないとこうなるよ、という厳しいご意見です。